

# チャンス・チャレンジ・チェンジ



秋田県立養護学校天王みどり学園 加賀谷 勝

## 「障害理解」出前授業の感想

・ある小学校の高学年で実施した「障害理解」出前授業。子どもたちの感想を紹介します。

### 4年生

・「障害のある人は私には関係ないよ」と思っていたが、話を聞いているうちに、「私はなんてひどいことをしたんだろう」と思った。これからは障害のある人を見つけたら、手伝ってあげたい。

・車いすを押す人が声をかけると乗っている人は安心することが分かった。

・「みんなちがってみんないい」と3つのお願い（気付く・声をかける・動く）を知ったので、これからはそれを守って人を助けたい。

### 5年生

・障害者には気を遣わないといけないから、正直面倒くさいと思っていたけど、相手も頑張っているから、自分は応援してあげようと思った。

・障害のある人となんて人を差別してはいけないことが分かった。

・普通に生活できるのは当たり前だけど、実際はとても幸せだということに改めて理解した。

### 6年生

・みどり学園のみなさんは、障害はあるが、自分でできることを見つけて頑張っているのだから、自分も見習いたい。

・障害者のために必要なもの（使うもの）は、私たちにも必要なもの（使いやすいもの）だ。

・「しんしょう」と言うことがあったけど、今日の話聞いて言わないようにしたい。  
・「身障一、身障！」と言うのは悪いことだと思いながらも黙って見ていたが、今度からは「そういうこと言うのやめたら」と言いたい。

・障害のある人よりも私たちの方が人間的にダメだと思った。障害のある人は、自分のある能力を最大まで頑張るけど、私たちは力があるのに使わない。障害のある人も私たちもできることとできないことがたくさんある。人間で完璧な人はいないので、みんな同じだ。

・障害者への気持ちが変わった。（多数）

・障害者はなりたくてなったわけではないので、できる限りのことで助けたい。

・障害がある人に今までは気付かないふりをしていたけど、これからは一緒に何かをしたい。

### 先生方からの意見・感想

- ・まったく知らない子どもが多くいたので、普段の情報不足（教師側）を感じた。
- ・子どもたちにはとてもよい機会だった。自分の周りにはいろいろな人がいて、「みんなちがってみんないい、お互いが大切な存在なんだ」という気持ちが子どもたちにしっかり残ってほしいと思った。
- ・乙武洋匡さんの話、心の声を聞こうの話は、とてもよかった。
- ・障害にはいろいろあることが具体的に理解できた。苦手なことをちょっとした配慮で支援していくことができるということがとてもよく分かった。

### 授業を終えて

- ・交流の事前学習として、小学校で特別支援学校の様子を紹介する機会はあったが、「障害」を真っ正面から取り上げて、小学生に説明するのは初めてであった。障害を正しく理解してもらうためには必要な活動であり、センター的機能として全県的に広げていきたい。また、この学習の意義を理解し、学んだことを実際場面で活用するためには、当日の出前授業と、事前・事後学習を関連付けながら計画するとともに、直接交流する機会を設けることが重要である。